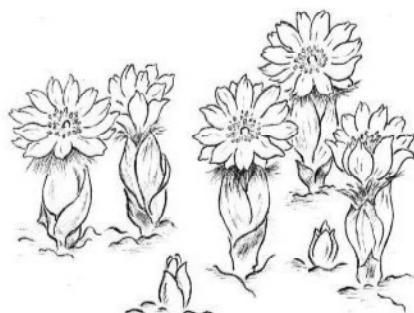


・顯現後第一主日

泉のほとり



今月の詩編 「第三十一編」

雄々しくあれ、心を強くせよ。

主を待ち望む人はすべて。

新年を迎えた。世間ではお正月になりますと、商売繁盛、交通安全、受験、就職、恋愛など、今年の幸運を願うのです。聖書全体は終始、ヘブライ語で「シェマ」、「イスラエル」、「聞け、イスラエルよ」と語っています。教会は神の教えを聞く神の民です。すなわち、人の願いではなく、神の願いを聞き、それを自分の願いとして生きるのが教会です。

今年の初めに聞く主の願いは「人を裁くな。あなた自身が裁かれないためである」ということです。「裁く」というのは人に判決を下すことです。例えば、私がある兄弟に対し「この人を赦せない」と言つたなら、「赦さない」という判決を下したことなのです。「この人は相手にする価値すらない」と決めつけることも、人を裁くことです。

主は更に「兄弟の目にあるおが肩は見えるのに、どうしてあなた自身の中の丸太に気づかないのか」と教えておられます。悪を悪と見ること、不義を不義と見て分別することはとても重要です。でも、人は自分の中にあるものより、他人の悪いところ、過ち、問題点がよく見えるのです。そして裁くのです。反対に、人から「あなたはこういうところが悪い。正しくない」と指摘されると、素直に認めようとはしないのです。不機嫌になることもあります。それほど人は自分自身のことを見るよ

り、他人のを見て、裁こうとする傾向が強いのです。自分の目に丸太があれば、自分にあるもつと大きな問題が見えず、自分が下した他人への裁きの言葉が自分に返ってきて、自分自身を裁くことになるので、主は「人を裁くな。あなたがたが裁かれないためである」と教えておられのです。

しかし、私たちの信仰はそこでとどまつてはなりません。主は「偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。

そうすれば、兄弟の目からもおが肩を取り除くことができる」と教えておられます。目指すべきは兄弟の目にあらおが肩を取り除くこともできる信仰です。しかし、そのためには自分の目にある丸太を取り除くことが先決なのです。それには、まず、自分の目に丸太があることに気づくことが必要です。

自分自身の中にある丸太に気づいたなら、その人はどうなるのでしょうか。まず、人を裁くことはできません。自分の中には丸太があるからです。むしろ、これまで自分は大きな丸太を目の中に持つていながら、人のことを見ておられる。ああだ、こうだ」と判決を下してきたことに、その愚かさを嘆くのではないでしようか。神がそのような自分を生かしておられるのと同様に、他の人をも生かしておられるのに、神さまを差し置いて、裁いてきたことに非常に深い悲しみを覚えるのです。何よりも主の十字架が、誰よりも自分のためのものだったのだと痛感させられるのです。これまで、そのような自分自身を生かしていくださった神の慈しみに、人から害を受けることがあってもその人を裁くのではなく、むしろ慈しみ、祈るのです。人が人を裁くのを見ると、その人自身が恐れを抱くことになるのです。そのように目から丸太が取り除かれ、自分自身をはつきりと見る人こそ、本当に兄弟の目にあるおが肩をも取り除くことができるのです。

人は本当に自分のことより、人のことばかり見て、もの言い、裁くのです。2023年がスタートしました。今年は一緒に「人を裁かない」、この神の願いを自分の願いとし、実現して生きようではありませんか。そのために、今年は何よりも自分自身をよく見て、吟味し、自分の足元を念入りに見て、生きていきましょう。それで、これまで与えられてきた、また今も豊かに注がれている神の慈しみをより深く知つていきたいと思います。

心に刻む御言葉

新しい翻訳
どうかわったのでしょうか

今日のお知らせ

- 第一礼拝は成人式礼拝です。

37篇

新共同訳

生まれたばかりの乳飲み子のように、
混じりけのない靈の乳を

慕い求めなきい。

これを飲んで成長し、

救われるようになるためです。

協会共同訳

八 怒りを解き、憤りを捨てよ。

九 怒りを燃やすな。

それはただ惡を行うに至る。

九 惡事をなす者は絶たれ

主に望みをおくるこそが地を受け継ぐ。

(ペテロの手紙一 2章2節)

新改訳2017

八 怒ることをやめ、憤りを捨てよ。
九 腹を立てるな。それはただ惡への道だ。
主を待ち望む者
彼らが地を受け継ぐからだ。

今後の予定

- 十日(火) 附属幼稚園三学期始業
- 十五日(日) 定例役員会、聖書の学び会
- 二十九日(日) 教会員研修会

今日の讃美歌 現代語訳

今日の聖書クイズ

『次週の礼拝』

讃美歌 147番

1. 喜びたたえよう 主は死に打ち勝ち

陰府からよみがえられた

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

2. 勝利の主を迎えて 贊美の花束を

主の御前に ささげよう

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

3. 今日から永遠に 尽きない命は

この世をうるおす

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

4. 命の主をほめ みな声を合わせて
この日をたたえよう
ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ



D A 3日後
C B 4日後
8日後

10日後

(答) ルカによる福音書2章21節を

ご覧ください。



(問) 主イエスに名前がつけられ、割礼が施されたのは、主が誕生されてから何日後のことだったでしょう？

● 第一礼拝（午前9時30分）
讃美歌 今日もまた 121番
説教 「イエスの名が」

聖書 使徒3章11～16節
説教者 宮間彰広兄

● 第二礼拝（午前11時）
讃美歌 2番 199番
説教 「すべて守るように教えなさい」
聖書 マタイ28章16～20節
説教者 黄允湜牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 今日もまた 121番
説教 「あなたは私の愛する子」
聖書 ルカ3章15~22節(新約P106)
司式 宮間彰広兄
聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師
説教者 菊池美穂子副牧師

前奏曲「キリスト、我らの主ヨルダンに来たり」

J.S.バッハ

○讃美歌「今日もまた」

1. 今日もまた新しく 鳥 歌い喜ぶ
み言葉に生かされて たたえよう この日を
 2. 草木にも 恵み満ち 雨露の輝き
神の園しのばせる たたえよう この日を
 3. ひとすじの 光より 生まれでる この朝
声高く ほめ歌え み手による この朝
- アーメン

○讃美歌 121番

1. 馬槽のなかに うぶごえあげ
木工の家に ひととなりて
貧しきうれい 生くるなやみ
つぶさになめし この人を見よ
 2. 食するひまも うちわすれて
しいたげられし 人をたずね
友なきものの 友となりて
こころくだきし この人を見よ
 3. すべてのものを あたえしすえ
死のほかにむかふる むくいられて
十字架のうえに あげられつつ
敵をゆるしし この人を見よ
 4. この人を見よ この人にぞ
こよなき愛は あらわれたる
この人を見よ この人こそ
人となりたる 活ける神なれ
- アーメン

聖餐曲「タントゥム・エルゴ」Z.コグイ

後奏曲「ゴシック風メヌエット」L.ボエマン

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 411番 147番
説教 「おはよう」
聖書 マタイ28章1~15節(新約P59)
司式 宮間彰広兄
聖餐司式 黄允湜牧師・菊池美穂子副牧師
説教者 黄允湜牧師

前奏曲「ソナタ第4番より」(第1楽章) F.メンツィロフ

○讃美歌411番

○聖歌隊による讃美

「主の道へ」
主の道へ 主の道へ 共に我ら進もう
主イエスは今待っておられる
主の道へ共に進もう
主の命じられるまま どこまでも行こう
主に従い歩もう
悲しみも苦しみも
主イエスは知っておられる
共に主の道を行こう
主イエスは今生きておられる
主の愛と命を受けよう
主のくださるすべてを 喜び受けよう
主に従い歩もう
力溢れ輝き満ち
主の道へ共に我ら進もう
輝く主の道へ行こう

○讃美歌147番

聖餐曲「タントゥム・エルゴ」Z.コグイ

後奏曲「ゴシック風メヌエット」L.ボエマン